

# 日本のジュエリー文化を豊かに 本物のジュエリーを幅広い層へ伝える 世界の至宝展～ANTHOLOGY in OSAKA

3月16日・17日  
リーガロイヤル大阪

## Made in Italy を誇ることは 追求すべきはジュエリー愛の根底にあるもの レオ・ピッツォ

1971年、北イタリアの宝飾都市として有名なヴァレンツァで誕生した「レオ・ピッツォ」は、創業者であるレオンツィオ氏がデザインと技術の経験を積み、23～24歳の時にヴァレンツァで小さな工房を開いたのが原点だ。

その後、宝石学者のサラと出会い、レオンツィオ氏のデザインに深い知識と技術が加わり、レオ・ピッツォのジュエリーに更なる深みを与えた。

それから半世紀以上をわたってジュエリー製作を続けており、現在ではヨーロッパにおいてトレンドセッターとしての知名度を誇っている。

イタリアの伝統である金細工の中心地ヴァレンツァに拠点を置き、「To Believe in creativity (創造性を信じる)」というプロジェクトで様々な芸術を支援している。

2012年には長年の功績と信頼が称えられイタリア共和国の騎士勲章を授けられた。さらに、2019年にはイタリアを代表するブランドやメーカーを選出するエッチェレンツェイタリアーネに選出されるなど世界中から注目されるブランドになった。

レオ・ピッツォのデザインの原動力は、美への追求だ。以前はレオンツィオがデザインまで描いていたが、現在は

レオンツィオのデザインスケッチを基にデザイナーがアイデアを解釈し、発展させることで独創的なジュエリーが誕生する。

それは決して特定の女性に向けたものではない。すべての女性は一人ひとり違い、その人それぞれの個性を引き立てるのがジュエリーであるとレオンツィオ氏は考えている。

また、レオ・ピッツォのジュエリーは現代的なものの中にもどこかクラシックなエッセンスと優美さを表現している。普遍的なエレガンスの追求こそが、レオ・ピッツォのジュエリー愛の根底にあるものだ。

美への情熱と伝統を紡ぐレオ・ピッツォはイタリアンジュエリーとして一見の価値があり、受け継がれていくべきジュエリーでもある。

その為、2010年頃に息子のタンクレディ氏とロッコ氏、娘のサラ氏が事業に加わり、彼らはそれぞれの専門性を活かして、経営、デザイン、マーケティングなど様々な分野を加えて、レオ・ピッツォは新世代の活躍を得て更なる成長を遂げている。

レオンツィオ氏は、世界中にイタリアンジュエリーの創造性の高さ、信頼のおける価値のあるジュエリーであると

認知してもらうためには、手段として「Made in Italyを誇ること」だと信じている。また、「情熱は今も昔もただ一つ、丁寧にジュエリーを創り上げる、それだけなのです」と語っている。

日本では見かけないユニークなジュエリーに目を奪われました

英国時計の初代ジュエリーアンバサダーの中村里彩さんに、レオ・ピッツォのショップに行ったときの感想を聞いてみると「まずそのお洒落なヨーロッパ建築の外観に驚きました。日本の店舗とは違って、各都市に合わせたデザインが特徴的で、ヨーロッパらしい洗練された雰囲気も漂っていました。店内に入ると、今季の新作ジュエリーや定番のデザインが並び、日本では見かけないユニークなジュエリーに目を奪われました。大胆なデザインと創造的な発想に、ヨーロッパならではの魅力を感じました。店内はこぢんまりとしていて落ち着いた雰囲気でしたが、ジュエリーの種類は豊富で驚きました。どの店舗でもスタッフは温かく迎えてくれて、親切に一つ一つのジュエリーを紹介してくれたのが印象的でした。また、スタッフはブランドに対する知識が豊



富で、詳しく説明してくれたため、信頼感が増しました。日本とヨーロッパのジュエリーブランドには文化の違いが表れており、Leo Pizzoでその独自の創造性や温かい接客を直接感じる事ができて、とても感動しました」と述べている。

得意先・取引先と  
想いを一つに

全国に7拠点を持つ栄光時計(代表取締役社長：岩崎伸一)は、3月16日・17日の2日間、リーガロイヤルホテル大阪で開催する関西最大級の消費者展「世界の至宝展～ANTHOLOGY in OSAKA～」から国内市場を盛り上げようと、コロナ禍から温めてきた企画を投入し始め、今回で3年目を迎える。



コロナで4年間中止となったANTHOLOGYであったが、2023年3月に復活し、4年間のブランクがあったものの、見事に「満開の桜」を咲かせる演出でジュエリーを待ち望む多くの来場者たちの心を掴み、日本を代表するデザイナーズジュエリーをはじめ、宣伝や名前に流されない「本物のジュエリー」を幅広い層へ届けたいという情熱が広がりはじめた。

「若年層によるジュエリー離れ」が我々業界の定説になりつつあるが、流通から販売方法、そして価値観まで変化した新しい市場においては、アクセサリーだけではなくジュエリーの人気は衰えることなく、今まで以上にその魅力が若者たちの間で自由に表現されているのである。

時間と労力が必要となる若年層への取り組みは、ジュエリー文化の育成や持続可能なビジネスとしても大切なこと。これは得意先や取引先、顧客から「ANTHOLOGY」が長年愛され続け、栄光時計が目標に向かって企画しているからこそ可能になること。本筋となる、これまで通りの既存顧客に向けた世界で輝くジュエリー群で会場を埋めつく

し、リピーターでもワクワク、ドキドキする演出も当然忘れてはいない。

イタリアの巨匠「レオ・ピッツォ」、ヨーロッパのトレンドをリードする「クリベリ」、歴史を誇るメゾランパン・コレクション、本能と創造性から生まれた作品「ナニス」などの海外ブランドを筆頭に、キャスミン、NOBUKO ISHIKAWA、梶光夫、カラッチなど独創的で芸術性の高いデザイナーズジュエリーを揃え、色彩豊かなジュエリーの中に加えて、高度

な技術や緻密なデザインが描かれている日本を代表するジュエラーの舟串盛雄氏やSHUDO氏などの作品に触れる機会を提供する。見るだけではわからない本当の凄さやジュエリーに込められたメッセージを感じてもらうことに大きな意味があることを大切にしている。

日本発のジュエリーだからこそ、日本人ならではの感性による「デザイン」「技術」「希少性」「センス」は、海外ブランドに負けないだけの魅力があり、日本のジュエリーを改めて「本物のジュエリー」としてANTHOLOGYでは提案し、日本のジュエリー文化を取引先とともに豊かにしていく構えだ。



### 若年層を巻き込むインフルエンサーを 栄光時計のアンバサダーに

さらに昨年は、業界の消費マインドの向上を目的として、若い世代にも本物のジュエリーを伝えていこうと、若い世代が注目するInstagramを活用したインフルエンサーによる新たなイベント「キャンパス・コレクション」を同時開催している。

これは、栄光時計が取り扱うブランドを1年間、栄光時計の専属ブランドアンバサダーとして宣伝していくMISS ANTHOLOGYを決定するものだ。既に投票は始まっており、会期初日(16日)にファイナリストが会場に登場する。その日の会場での会場投票とSNSでの投票を含めて、その日の夜に開催されるGALA PARTYでグランプリが発表される予定となっている。



なお、初代MISS ANTHOLOGY 2024に輝いた中村里彩(ナカムラリサ)さんは、副賞としてジュエリーの本場イタリアに行き、イタリアの宝飾見本市ヴィンツェンツァを見学したほか、日本ではなかなか見ることのできないほどの商品点数を見て回った。その他、新作ジュエリーのオフィシャル撮影モデルやジュエリーの魅力を発信する活動を栄光時計の公式サイトで3月まで活動する予定だ。

## 初代 MISS ANTHOLOGY 栄光時計ジュエリーアンバサダー 中村里彩



1年間のアンソロジー活動を通して、私の人生は180度変わったと感じています。最初はジュエリーに特別な興味はなかったのですが、活動を通じて他の大学生よりも多くの本物に触れることができ、ジュエリーを見る機会が増えました。気づけば、百貨店に行くたびにジュエリーコーナーに足を運び、ジュエリーの魅力にすっかり引き込まれていました。自分自身もジュエリーを購入し、毎日身につけるたびに「今日も頑張ろう」と自信を与えてくれ、触れるたびに安心感を得ています。

また、就職活動をしていたとき、自分

のやりたいことがはっきりと見えていきました。しかし、イタリアのジュエリーのイベントに参加した際、その輝きがいかに素晴らしいと感じました。帰国後、少し迷いながらもあの時感じた気持ちを信じて、自分のやりたいことが明確になり、結果的にジュエリー業界で今後も働けることになりました。この活動は、私の人生の大きなターニングポイントとなりました。

さらに、イタリア研修の際、小谷社長が言っていた「夢は絶対に叶えることができる」という言葉が、今でも私の原

動力です。目標から逆算して1年後、半年後、1ヶ月後、1週間後、そして今日、何をすべきかを考え、愚直に努力を続ければ、叶わない夢はないという言葉に励まされています。この言葉を胸に、これからも自分の夢を追いかけたいと思います。

最後に、アンソロジー活動を通して素晴らしい方々に出会ったことを心から感謝しています。いつも「久しぶり!」と明るく声をかけてくださり、人生相談に乗ってくださったり、ジュエリーの魅

力をたくさん教えてくださったり、温かく迎えていただきました。栄光さんの皆さんと関わることができたことは、私にとってもかけがえのない財産です。この貴重な経験を大切にし、今後も自分の成長に繋げていきたいと思っています。

## 口上 栄光ホールディングス 会長 小谷 年司



旧暦で言うところの弥生三月、桜の春です。今年も当社が全社努力を集結して開催する大阪での「アンソロジー」(詞

華集展)の時期となりました。

季節の春と同時に宝飾時計業の春を告げるファンファーレを高らかに鳴らしたいと願っています。

明治維新まで鎖国によって日本はいわゆる徳川幕府二百五十年の平和を得ることができました。

その間に培われた美術工芸の職人技は世界に冠たるものがあり、欧米でジャポニズムの狂熱を巻き起こしました。宝飾技術ではその伝統が脈々と引き継がれています。

今回の展示はモダンな製品ばかりではなく、和の伝統に根差した宝飾品にスポットライトを当てました。ご覧になって心がウキウキすることは必定です。どうか、お客様をお誘いして同行下さい。あるいはお店の方々と共に。

みなさまの隅から隅までぜひとご来場をお待ちしております。

## WATCH & BRAND JEWELRY COLLECTION



宝飾＝ランパン、レオピッツォ、NANIS、ボンドストリート、ネオネロ、梶光夫、カラッチ、ノブコシカワなど、WATCH＝クロノスイス、センチュリー、ユンハンス、フェラガモ、ボールピコなど、その他＝コシノジュンコ、バッグ、レザーなど。

### SPECIAL GUEST

3/16 SUN  
黒木 瞳  
①11:30～ ②14:30～  
福岡県出身の俳優。宝塚歌劇団の娘役トップスターとして活躍。日本アカデミー賞最優秀主演女優賞などを受賞。

3/17 MON  
大地 真央  
①11:30～ ②14:30～  
兵庫県出身の女優。宝塚歌劇団の看板スターとして活躍。退団後は、舞台を中心に幅広く活躍中。受賞歴多数。

### 会場内特設ステージにて トークショー

